



野中百合子（ソプラノ）

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。

Longy School of Music School オペラ科卒業。

「第9回・インターナショナル・マダムバタフライ・コンクール」1位受賞。藝大在学中に、毎日新聞・毎日新聞東京厚生文化事業団主催オラトリオ「メサイア」のオーディションに合格。ソプラノ・ソリストとして出演。アメリカでは、東海岸を中心に、オペラ、ソリスト、コンサートを中心に活動。多数の交響楽団とも演奏している。

ロシアで開催され19カ国、500人ものアーティストが参加したアジア音楽祭に招待され、オペラ「蝶々夫人」にて主演。CD“Reflessi di Sole”もリリースされている。



五十嵐陽子(ピアノ)

ポーランド国立ショパン音楽院卒業後、渡米。サンフランシスコ音楽院修士課程ピアノ伴奏科、ニューイングランド音楽院協奏ピアノ科ディプロマコースを経て、ボストン大学音楽学部博士課程に全額奨学生として入学、2012年博士号取得。

ニューイングランド音楽院在学中よりボストンを拠点に伴奏ピアニストとして活躍する傍ら、バレエ伴奏にも興味を持ち、マサチューセッツ州ケンブリッジにあるホセマテオバレエシアターで研鑽を積み始める。ボ

ストン大学卒業後、ボストンバレエ団に就職、現在スクール代表ソロピアニストとして数々の主要なパフォーマンスに出演している。